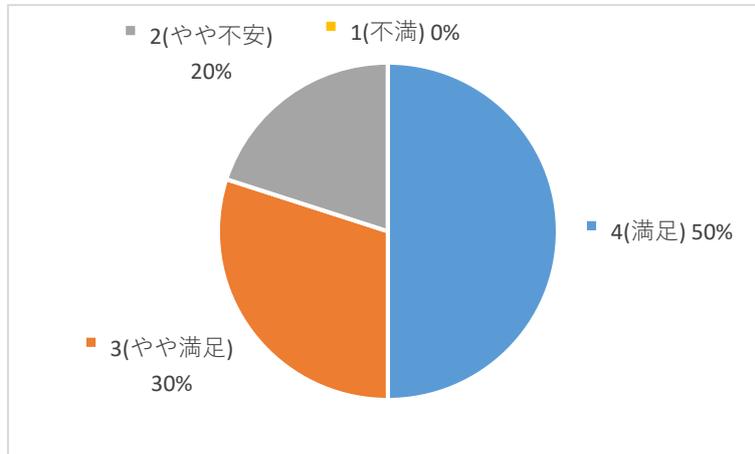


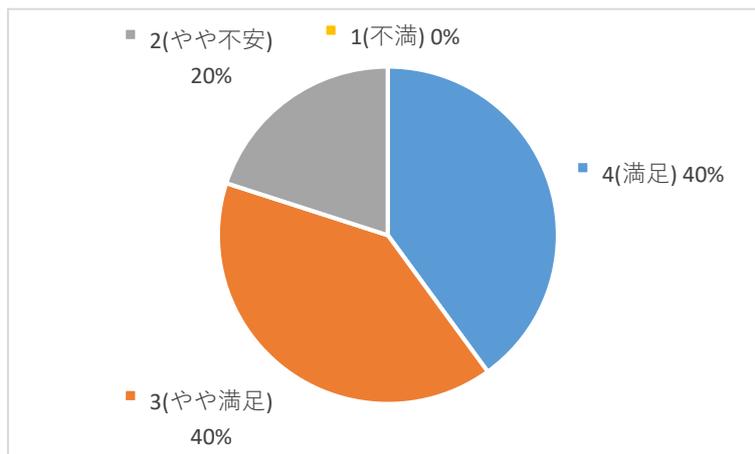
1. 基本的理念と社会的責任

(子どもの最善の利益を考慮して、最もふさわしい生活の場となっている、他)



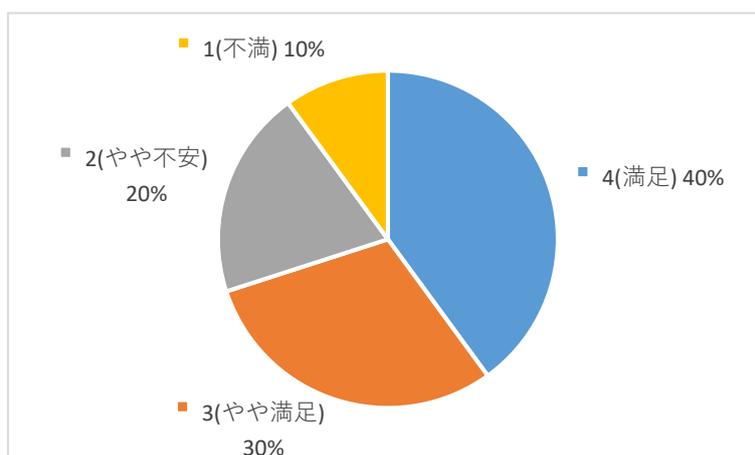
2. 保育の配慮事項

(子どものその時々のお気持ちを受けとめて保育が行われている、他)



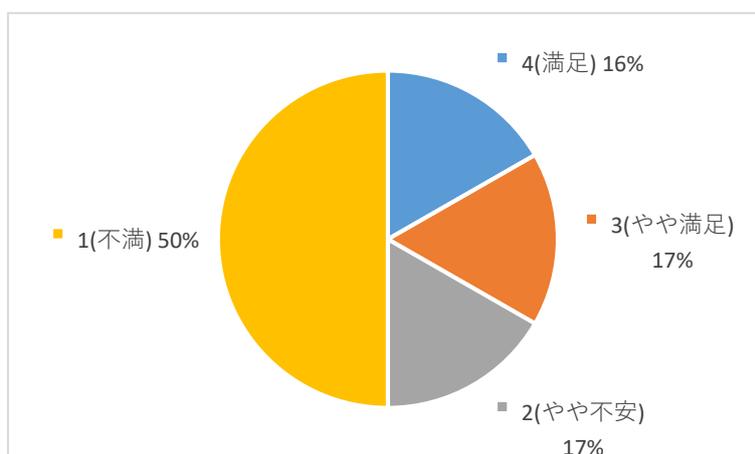
3. 計画・評価・育ちの見通し

(全体的な計画、年間指導計画により、長期的な見通しをもち、職員が共有し、ディスカッションできる場がある、他)



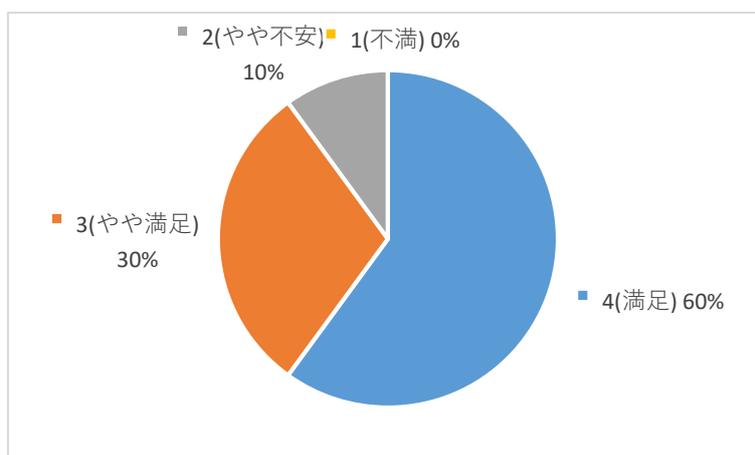
4. 特別支援・障がい児保育

(障害のある子どもの特性に合わせた個別支援のための計画を立案している、他)



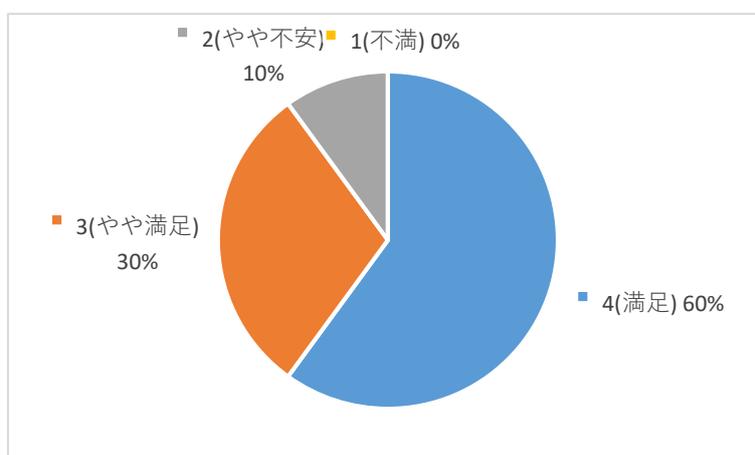
5. 乳児保育のねらいと内容

(発育に応じた行動(立つ、歩くなど)を自発的に行えるような環境づくりをしている、他)



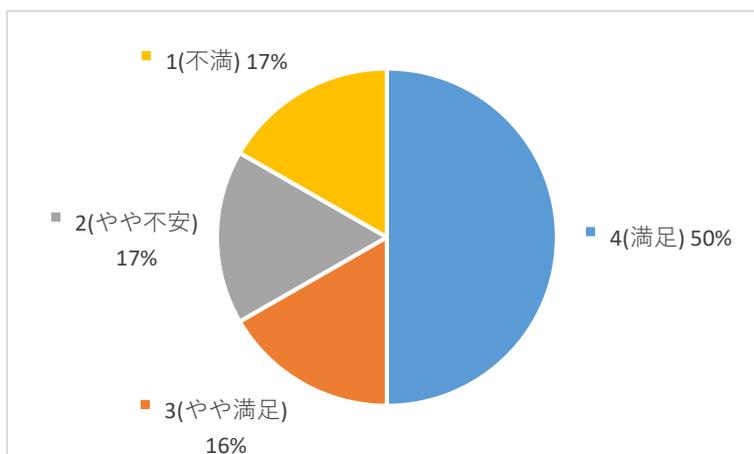
6. 1～3歳未満のねらいと内容

(子どもが自分でやろうとする、出来るようになろうと頑張る主体的な気持ちを尊重した保育が展開されている、他)



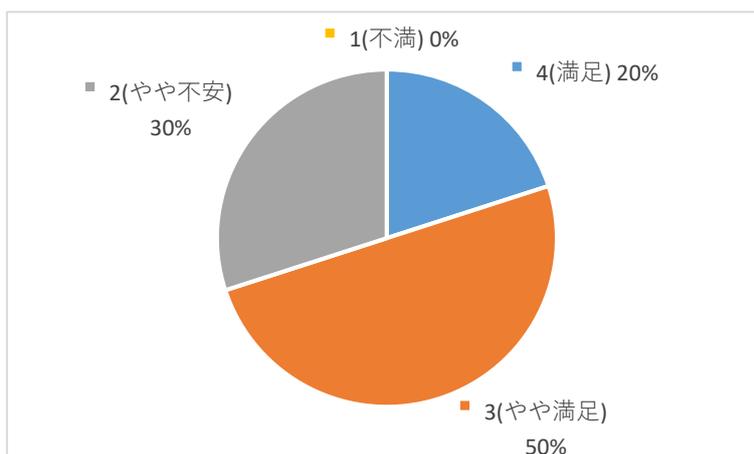
7. 3歳以上児のねらいと内容

(生活に必要な基本的な習慣や態度が身につくよう、目標やねらいに基づいて保育が展開されている、他)



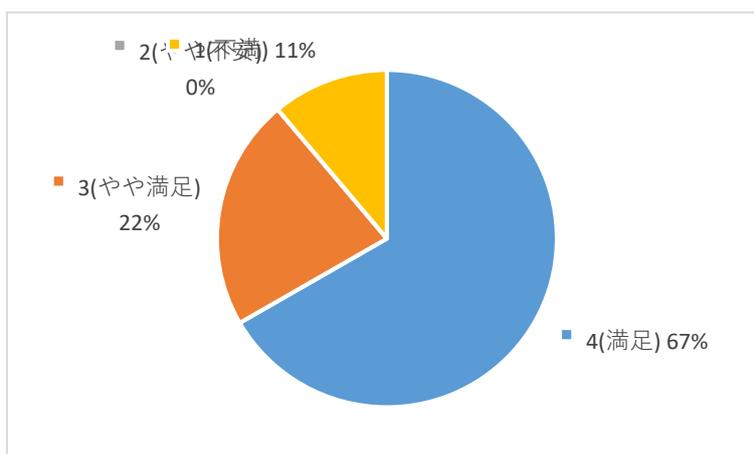
8. 健康支援

(職員が、感染症に対する園の方針やマニュアルのポイントを理解し、行動している、他)



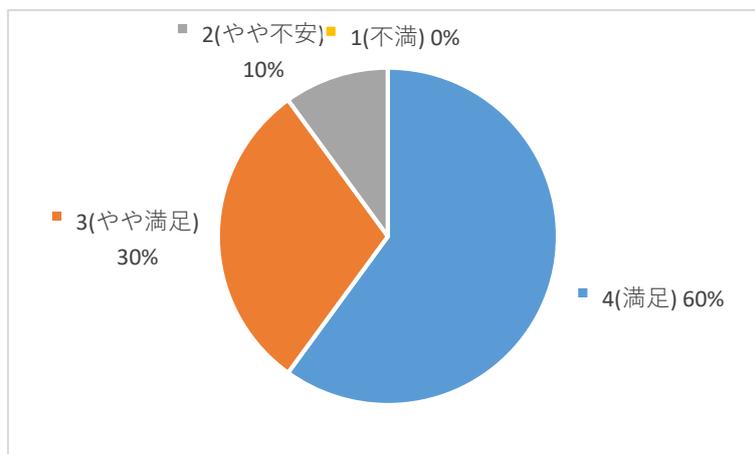
9. 食育の推進

(子どもが意欲的に食に関する体験ができるよう、具体的な食育計画を作成している、他)



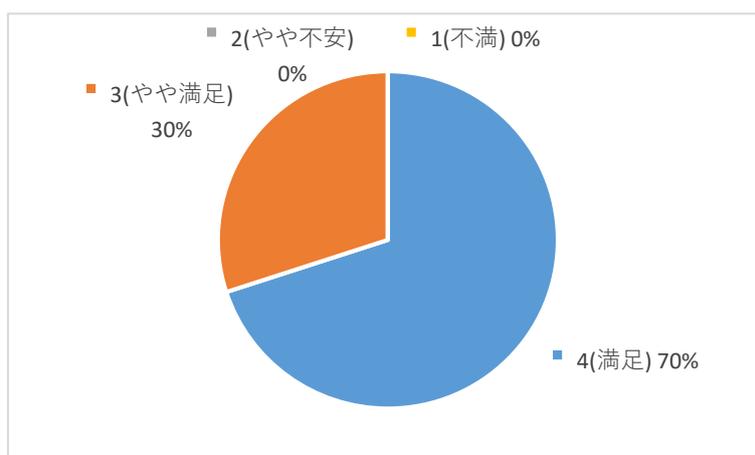
10. 安全管理

(これまで園内で起こった事故およびヒヤリハットを職員全員が理解し、定期的に報告、共有の場を設けている、他)



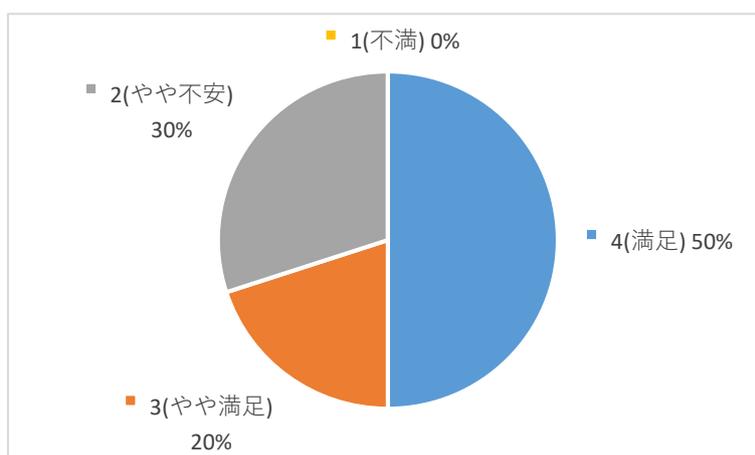
11. 環境・衛生管理

(子どもが活動しやすい様に室内の温度、湿度、換気、採光などを適宜調整している、他)



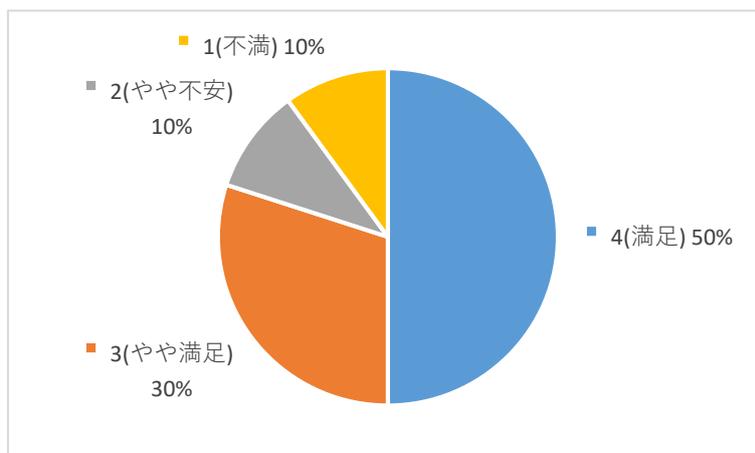
12. 災害対策

(災害に対する園の方針などを打ち出し、職員に対して十分に理解を促している、他)



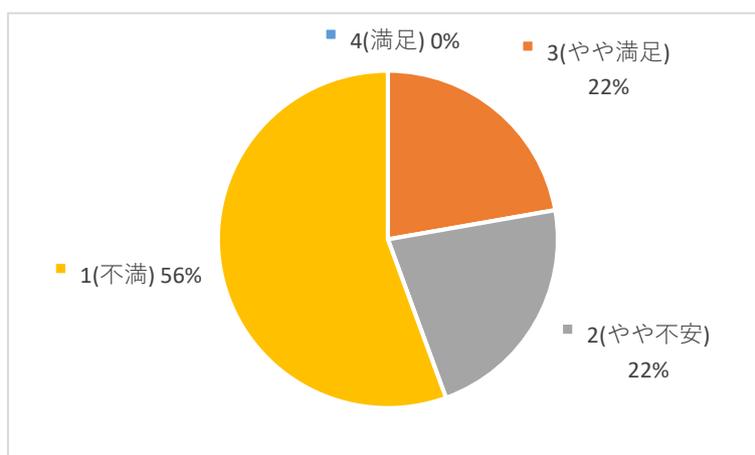
13. 家庭との連携（在園児）

（保護者のお迎え時、職員は活動内容を伝えるだけでなく、学びや成長の変化を伝えることが出来ている、他）



14. 家庭との連携（地域）

（関係者評価や自治体など、地域の子どもについての保育ニーズを把握している、他）



15. 職員の資質向上

（園内・外で行われる研修や会議に職員が積極的に参加し、資質向上を図っている、他）

